

2027年度 大学院学生募集要項 (修 士 課 程)

本冊子に記載されている内容は諸般の情勢により変更となる場合があります。

その際は随時本学ホームページでお知らせいたしますので、受験を検討している入試日程の出願期間が始まる前に必ず確認するようにしてください。



東京家政学院大学大学院

アドミッションポリシー

○人間生活学研究科

知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材、あるいは高度な専門的知識・能力を持つ専門職業人を目指し、これまでに培った学識や能力を基盤に、学術の理論及び応用の深奥を究めようとする好奇心の強い人、又、多様な経歴や価値観を持った人を幅広く求めている。

(知識・技能)

専攻分野を広く学び、有為な人材として社会で活躍するために必要な高度な知識・技能を身につけることができる。

(思考・判断)

人間生活に係る諸問題を発見し、学際的、実践的な研究を通じて、人間生活の本質的な価値を追究することができる。

(関心・意欲・態度)

人間社会の多様な営みに興味・関心を持ち、生活の質の向上と人類の福祉に貢献することができる。

(表現)

他者を理解した上で、自らの見解を形成し、それを豊かに表現する能力を培うことができる。

○家政学専攻

これまでに培った家政学の学識や能力を基盤に、学術の理論及び応用の深奥を究めようとする好奇心の強い人、又、多様な経歴や価値観を持った人を幅広く求めている。

(知識・技能)

家政学を構成する家庭経営、被服、住居、食物及び子どもの領域に加え、福祉学、教育学を総合的に学び、高度で広範な知識・技能を身につけることができる。

(思考・判断)

生活者と社会の多様性を踏まえ、その普遍性と特殊性を理解し、客観的に分析・判断する力を身につけることができる。

(関心・意欲・態度)

生活上の問題に直面している人々に対し、問題点を論理的に解析し、解決法を持って質の高い生活の支援を行いたい人、次世代に向けて家庭科教育を通して良い生活を提言することに意欲がある。

(表現)

他者を理解した上で、自らの見解を形成し、それを豊かに表現する能力を培うことができる。

○栄養学専攻

これまでに培った栄養学の学識や能力を基盤に、学術の理論及び応用の深奥を究めようとする好奇心の強い人、又、多様な経歴や高い倫理観をもった人を幅広く求めている。

(知識・技能)

食品に関わる領域、健康に関わる領域、そして、その関係性や実践に関わる領域を広く学び、高度な知識・技能を身につけることができる。

(思考・判断)

食と栄養を中心に、人を取りまく環境に係わる今日的な健康問題を把握し、これを解決する方法について、科学的根拠に基づき探究することができる。

(関心・意欲・態度)

学術の急速な進歩と社会構造の変化に関心を持ち、健康の維持・増進並びに疾病の予防に貢献することができる。

(表現)

他者を理解した上で、自らの見解を形成し、それを豊かに表現する能力を培うことができる。

目 次

1. 大規模災害における特別措置	1
2. 募集人員	5
3. 標準修業年限	5
4. 事前相談	5
5. 出願資格	5
6. 事前相談から出願までの流れ	6
7. 入試日程	7
8. 出願手続	11
9. 受験時の注意事項等	12
10. 入学手続	13
11. 特待生制度	14
12. 長期履修学生制度	14
13. 在学期間短縮制度	14
14. 出願書類提出先及び入学者選抜等に関する照会先	14
15. 試験実施キャンパス	15

1. 大規模災害における特別措置

東京家政学院大学大学院では大規模災害に遭われた受験生を対象に、次のような特別措置を行うので、出願前に必ず確認すること。

◆措置内容

(1) 入学検定料免除

全額免除

(2) 入学金及び学納金免除

家屋の被災状況と被災による家計支持者の収入の変化状況で免除内容を決定

家屋被災状況 \ 収入状況	収入喪失	収入激減	変化なし
全壊	入学金全額免除及び入学年度の授業料・施設設備資金を全額免除	入学金全額免除及び入学年度の授業料・施設設備資金を全額免除	入学金全額免除及び入学年度の授業料・施設設備資金を全額免除
半壊	入学金全額免除及び入学年度の授業料・施設設備資金を全額免除	入学金全額免除及び入学年度の授業料・施設設備資金の2分の1を免除	入学金全額免除及び入学年度の授業料・施設設備資金の2分の1を免除
一部損壊	入学金全額免除及び入学年度の授業料・施設設備資金を全額免除	入学金全額免除及び入学年度の授業料・施設設備資金の2分の1を免除	対象としない
被害なし	入学金全額免除及び入学年度の授業料・施設設備資金を全額免除	入学金全額免除及び入学年度の授業料・施設設備資金の2分の1を免除	対象としない

◆対象入試日程

本大学院において 2026 年 4 月 1 日から 2027 年 7 月 3 日までに実施する全日程

◆対象者

(1) 対象となる災害の災害救助法適用地域に居住している者

(2) 対象となる災害により、災害救助法適用地域外に避難している者

◆申請方法・書類

(1) 入学検定料免除

各入試の出願期間内に以下の①②を出願書類に同封し、申請すること。

なお、出願時には入学検定料を納入すること。

①入学検定料免除申請書（3 ページ）

②罹災証明書のコピー

※避難等で、現住所が災害救助法適用地域と異なる受験生については、必ずそれを証明する書類を出願書類に同封すること。

(2) 入学検定料、入学金及び学納金免除

各入試の出願期間内に、以下の①～④を出願書類に同封し、申請すること。

なお、出願時には入学検定料を納入すること。

①入学検定料免除申請書（3 ページ）

②入学金及び学納金免除申請書（4 ページ）

③罹災証明書のコピー

④家計支持者の年収を示す 2025 年度の源泉徴収票、2025 年度の確定申告書の控え、または直近の収入状況がわかる書類（給与明細）のコピー等

※避難等で、現住所が災害救助法適用地域と異なる受験生については、必ずそれを証明する書類を出願書類に同封すること。

◆審査・発表方法

(1) 入学検定料免除

申請書類により審査を行い、可否に関係なく、審査結果は合格発表日以降に郵送する。

(2) 入学金及び学納金免除

申請書類により審査を行い、審査結果及び免除内容を合格通知書に同封し、郵送する。

◆注意事項

- ・対象となる災害救助法適用地域は本学ホームページを参照すること。
- ・申請時に書類が同封されていない場合には、審査ができないので注意すること。
- ・避難等で、現住所が災害救助法適用地域と異なる場合に提出する住所変更証明書類は 1 通でよい。
- ・申請時に提出された書類は返却しない。

※申請書類は必要に応じて、追加提出を求める場合がある。

なお、証明書等が提出できない場合には、出願前に必ずアドミッションオフィス（03-3262-2258）へ連絡すること。

受験番号
※記入不要

入学検定料免除申請書

(大規模災害における特別措置)

西暦 年 月 日

東京家政学院大学大学院 学長 殿

2027 年度入学試験受験に際し、入学検定料の免除を申請します。

受験者氏名 _____ (印)

入 試 種 別 出願する入試種別に○をつけてください。

一般選抜試験 社会人特別選抜試験

志 望 専 攻 志望専攻に○をつけてください。

家政学専攻 栄養学専攻

検定料合計金額 30,000 円

被災時居住住所	〒
被災時所属大学名 (勤務先)	
現住所・連絡先	〒 (電話番号)
(返金振込先)	
_____ 銀行 _____ 支店	
口座番号 当座・普通 _____	
フリガナ 口座名義 _____ (印)	

※振込口座の名義は、受験者本人または家族（保護者・祖父母・兄弟等）の名義とする。

入学金及び学納金免除申請書

(大規模災害における特別措置)

東京家政学院大学大学院 学長 殿

フリガナ			受験番号 ※記入不要	
受験者氏名			志望専攻	専攻
生年月日	西暦	年 月 日		
大学名 (勤務先)				
受験者住所	〒	TEL.		
避難先住所	〒	TEL.		
保護者等住所	〒	TEL.		
申請理由				
添付書類				
以上のとおり、記載事項に相違ありません。 受験者氏名 ㊟ 西暦 年 月 日 保護者等氏名 ㊟				

【注意事項】

- 本申請書は、各入試の出願書類に同封し、提出すること。
1つの封筒に複数日程(試験日)の出願書類を同封する場合、本申請書及び証明書は1式のみで構わない。
- 災害等で避難をされている方は、「受験者住所」欄に避難前の住所を、「避難先住所」欄に避難先の住所を記入すること。
- 「申請理由」欄には、申請理由を記入すること。
- 「添付書類」欄には、罹災証明書、源泉徴収票等の年収を示す証明書として同封した書類(コピー)の名称を記入すること。
証明書類が同封されない場合は、審査外とする。
- 本申請書の個人情報は、この用途以外には使用しない。また、第三者への開示・提供は行わない。

2. 募集人員

研 究 科	専 攻	募 集 人 員	備 考
人間生活学研究科	家政学専攻	6 名	募集人員は全ての選抜試験及び入試日程を含む。
	栄養学専攻	4 名	

3. 標準修業年限 2 年

4. 事前相談

出願を希望する者は、所定の事前相談申込締切日までに、事前相談申込書及び研究計画書（本学ホームページからダウンロード）を使用し、必要事項を記入のうえ、アドミッションオフィスにメールまたは FAX で送信し、出願資格、研究内容等に関する事前相談を行うこと（詳細は 6 ページ「6. 事前相談から出願までの流れ」を確認すること）。

5. 出願資格

一般選抜試験

4 月入学生については 2027 年 3 月 31 日、9 月入学生については 2027 年 9 月 20 日までに次の (1) ～ (9) のいずれか一つに該当する者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の学校において、修業年限が 3 年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達した者

社会人特別選抜試験

一般選抜試験の出願資格のいずれかに該当する者で、入学時に出願資格取得後 2 年以上の職歴を有する者、または出願資格取得後 3 年以上経過している者

外国人留学生特別選抜試験

一般選抜試験の出願資格のいずれかに該当する者で、外国籍を有し、「日本語能力試験（JLPT）」N1 または「日本留学試験（EJU）」を受験している者

6. 事前相談から出願までの流れ

事前相談

本学ホームページからダウンロードした事前相談申込書及び研究計画書を使用してください。
必要事項を記入のうえ、各日程の事前相談申込締切日までにアドミッションオフィスまで
メールまたは **FAX** で送信し、事前相談を行ってください。
研究計画内容によっては本大学院で指導できない場合もありますので、提出いただいた
事前相談申込書に基づき、学内で研究内容について確認させていただきます。

【事前相談申込締切日】

4月入学生Ⅰ期	2026年 8月 3日（月）まで
4月入学生Ⅱ期	2026年 12月 18日（金）まで
9月入学生	2027年 5月 7日（金）まで

面談（必要に応じて）

研究計画内容について、詳しくお聞きするために、面談を行う場合があります。

研究計画内容に関する指導可否の連絡

研究計画内容について、本大学院で指導可能かどうかの可否を指定された連絡先にお知らせします。

指導可

出 願

指導不可

出願不可

7. 入試日程

<4月入学生Ⅰ期 一般選抜試験・外国人留学生特別選抜試験>

出 願 期 間	2026 年 8 月 31 日（月）～ 2026 年 9 月 11 日（金）消印有効
選 考 日 時 試 験 場	2026 年 9 月 26 日（土） 小論文 10：00～11：00 英語 11：20～12：20 面 接 13：10～ 東京家政学院大学 千代田三番町キャンパス
選 考 方 法	小論文、英語、面接及び出願書類により、総合判定する。 なお、英語試験については、本学で用意した英和辞典を貸与する。 [配点] 小論文(40)＋英語(30)＋面接(30)＝100 点
合 格 発 表 日	2026 年 10 月 1 日（木） 合否結果を受験者全員に通知（郵送）する。 また、合格者には、合格通知書及び入学手続書類を郵送する。
入学手続締切日	2026 年 10 月 9 日（金）
入 学 時 期	2027 年 4 月

<4月入学生Ⅱ期 一般選抜試験・外国人留学生特別選抜試験>

出 願 期 間	2027 年 1 月 25 日（月）～ 2027 年 2 月 5 日（金）消印有効
選 考 日 時 試 験 場	2027 年 2 月 19 日（金） 小論文 10：00～11：00 英語 11：20～12：20 面 接 13：10～ 東京家政学院大学 千代田三番町キャンパス
選 考 方 法	小論文、英語、面接及び出願書類により、総合判定する。 なお、英語試験については、本学で用意した英和辞典を貸与する。 [配点] 小論文(40)＋英語(30)＋面接(30)＝100 点
合 格 発 表 日	2027 年 2 月 26 日（金） 合否結果を受験者全員に通知（郵送）する。 また、合格者には、合格通知書及び入学手続書類を郵送する。
入学手続締切日	2027 年 3 月 8 日（月）
入 学 時 期	2027 年 4 月

＜9月入学生 一般選抜試験・外国人留学生特別選抜試験＞

出 願 期 間	2027 年 6 月 7 日（月）～2027 年 6 月 18 日（金）消印有効
選 考 日 時 試 験 場	2027 年 7 月 3 日（土） 小論文 10：00～11：00 英語 11：20～12：20 面 接 13：10～ 東京家政学院大学 千代田三番町キャンパス
選 考 方 法	小論文、英語、面接及び出願書類により、総合判定する。 なお、英語試験については、本学で用意した英和辞典を貸与する。 [配点] 小論文(40)＋英語(30)＋面接(30)＝100 点
合 格 発 表 日	2027 年 7 月 8 日（木） 合否結果を受験者全員に通知（郵送）する。 また、合格者には、合格通知書及び入学手続書類を郵送する。
入 学 手 続 締 切 日	2027 年 7 月 16 日（金）
入 学 時 期	2027 年 9 月

＜4月入学生Ⅰ期 社会人特別選抜試験＞

出 願 期 間	2026 年 8 月 31 日（月）～2026 年 9 月 11 日（金）消印有効
選 考 日 時 試 験 場	2026 年 9 月 26 日（土） 小論文 10：00～11：00 プレゼンテーション、面接 11：20～ 東京家政学院大学 千代田三番町キャンパス
選 考 方 法	小論文、プレゼンテーション※、面接及び出願書類により、総合判定する。 [配点] 小論文(40)+プレゼンテーション(20)+面接(40)=100 点
合 格 発 表 日	2026 年 10 月 1 日（木） 合否結果を受験者全員に通知（郵送）する。 また、合格者には、合格通知書及び入学手続書類を郵送する。
入学手続締切日	2026 年 10 月 9 日（金）
入 学 時 期	2027 年 4 月

＜4月入学生Ⅱ期 社会人特別選抜試験＞

出 願 期 間	2027 年 1 月 25 日（月）～2027 年 2 月 5 日（金）消印有効
選 考 日 時 試 験 場	2027 年 2 月 19 日（金） 小論文 10：00～11：00 プレゼンテーション、面接 11：20～ 東京家政学院大学 千代田三番町キャンパス
選 考 方 法	小論文、プレゼンテーション※、面接及び出願書類により、総合判定する。 [配点] 小論文(40)+プレゼンテーション(20)+面接(40)=100 点
合 格 発 表 日	2027 年 2 月 26 日（金） 合否結果を受験者全員に通知（郵送）する。 また、合格者には、合格通知書及び入学手続書類を郵送する。
入学手続締切日	2027 年 3 月 8 日（月）
入 学 時 期	2027 年 4 月

＜9月入学生 社会人特別選抜試験＞

出 願 期 間	2027 年 6 月 7 日（月）～2027 年 6 月 18 日（金）消印有効
選 考 日 時 試 験 場	2027 年 7 月 3 日（土） 小論文 10：00～11：00 プレゼンテーション、面接 11：20～ 東京家政学院大学 千代田三番町キャンパス
選 考 方 法	小論文、プレゼンテーション※、面接及び出願書類により、総合判定する。 [配点] 小論文(40)＋プレゼンテーション(20)＋面接(40)＝100 点
合 格 発 表 日	2027 年 7 月 8 日（木） 合否結果を受験者全員に通知（郵送）する。 また、合格者には、合格通知書及び入学手続書類を郵送する。
入 学 手 続 締 切 日	2027 年 7 月 16 日（金）
入 学 時 期	2027 年 9 月

※受験生本人による研究計画についてのプレゼンテーションを 10 分行ったのち、質疑応答を含む面接を 20 分行う。

プレゼンテーション資料は Microsoft Power Point で作成し、USB メモリーに保存したものを試験当日持参すること。また、配付資料として、同資料を A4 サイズで 3 部印刷して、併せて持参すること。

8. 出願手続

(1) 出願書類

注意事項等をよく読み、出願期間内に必要書類を提出すること。出願書類の不足、記載事項に不備等がある場合には、受理しないことがあるので注意すること。

	出 願 書 類	注 意 事 項 等
1	志願票（A票） 写真票（B票） 受験票（C票）	本学所定の用紙に必要事項を記入し、入学検定料を納入すること。
2	卒業（見込）証明書	出身大学のものを出願すること。 ※証明書は、原本に限る（コピーは不可）。
3	成績証明書	
4	志願者履歴書	本学所定の用紙に必要事項を記入し、提出すること。 ※学歴は、小学校から記入すること。
5	研究計画書	本学所定の用紙を使用し、提出すること。
6	英語で作成した研究計画書の要約	社会人特別選抜試験に出願する者のみ、本学所定の用紙に必要事項を記入し、提出すること。
7	連絡票	2ヶ所に同じ住所と氏名を記入し、提出すること。 ※連絡票は、合格通知書等の郵送に使用するため、志願者本人が受取可能な住所を記入すること。
8	長期履修申請書	長期履修学生制度を希望する者のみ、本学所定の用紙を使用し、提出すること。
9	在学期間短縮申請書	在学期間短縮制度を希望する者のみ、本学所定の用紙を使用し、提出すること。
10	単位認定願	
11	大学院科目に係る既修得単位の成績証明書又は単位修得証明書	在学期間短縮制度を希望する者のみ、提出すること。 ※証明書は、原本に限る（コピーは不可）。
12	修了（見込）証明書（大学院修了者又は修了見込の者のみ）	
13	既修得科目の授業概要が記載された大学院要覧、シラバス等	在学期間短縮制度を希望する者のみ、提出すること。
14	日本語訳・公的機関証明	出願書類2及び3について、日本語、英語以外の言語で記載されたものについては、大使館、領事館等の公的機関の証明を受けた日本語訳を必ず添付すること。 中国国内で発行された卒業証明書等の場合は、中国国内の教育部学歴認証センター（北京市）または各地方の公証処（各地方の司法局に認定された機関）において、原本と一致するとの証明を受けた日本語訳を添付すること。 日本語学校に在籍している者は、日本語学校が証明する日本語訳でも可とする。
15	住民票	日本在住の外国籍を有する者は、市区町村長の交付する在留資格が明示された住民票を必ず提出すること。 ※外国から直接出願する場合は、出身国の公的機関が発行する戸籍抄本または市民籍等の居所証明書を提出すること。
16	「日本語能力試験（JLPT）」または「日本留学試験（EJU）」の受験票・成績確認書	外国人留学生特別選抜試験に出願の場合は、「日本語能力試験（JLPT）」N1、または「日本留学試験（EJU）」の受験票（写真付）及び成績確認書（合否結果通知）のコピーを必ず提出すること。

※留学生で、本学の在学生または卒業生は、14・15の書類を提出する必要はない。

(2) 出願書類記入上の注意

記入にあたっては、黒のボールペン（油性のみ、消せるタイプは不可）を用い、楷書で明確に記入すること。なお、一度提出した出願書類の変更・返還は認めない。

(3) 入学検定料の納入方法

- ・ 入学検定料 30,000 円を、金融機関の窓口から納入すること。
- ・ 本学所定の受験票 (C 票)・振込依頼書 (D 票) 及び振込金領収書 (E 票) に必要事項を記入し、そのまま切り離さずに金融機関に持参すること。
- ・ 取扱銀行収納押印欄①、③に金融機関の収納印が押印されていることを確認後、受験票 (C 票) は出願書類として提出すること。振込金領収書 (E 票) は本人が保管すること。
- ・ 一度納入された入学検定料は返還しない。

(4) 出願方法について

出願書類は、所定の出願用封筒を用いて、必ず「簡易書留速達」として郵送すること。

なお、出願締切日の消印まで有効とする。

出願に対して、折り返し受験票を郵送するので、試験日に必ず持参すること。

(5) 出願時の注意

- ・ 出願及び入学手続にあたって取得した受験者の氏名、住所等の個人情報、入学試験実施 (出願処理・試験実施)、可否発表、入学手続及びこれに付随する事項に利用する。
 - ・ 身体に障がいのある者で、受験上特別な配慮を必要とする志願者 (日常生活において、ごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も含む) については、出願期間前のできるだけ早い時期にアドミッションオフィスへ連絡すること。
- ※申請内容及び事前に行う面談等は、試験の可否には一切影響しない。

9. 受験時の注意事項等

本大学院の入学試験の受験を希望する者は、以下の注意事項を必ず確認すること。

(1) 感染症に係る注意事項等

本大学院では、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症 (指定感染症を含む) に罹患し、治癒していないまたは罹患の疑いがある場合は、他の受験生や監督者等へ感染の恐れがあることから、受験を認めない (ただし、症状により学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めたときは、この限りではない)。

なお、感染症罹患により受験を認められなかった場合でも、別の入試日程への振替・追試験、入学検定料の返還等の措置は行わない。

(2) 受験時の注意

- ・ 試験実施に関わる掲示 (試験室番号、試験室場所等) は、試験当日に行うので必ず確認すること。
 - ・ 試験当日は、必ず受験票を持参すること。万一受験票を紛失した場合は、試験当日、学生証等の身分を証明できるものを持参のうえ、アドミッションオフィスに申し出ること。
 - ・ 試験開始 15 分前までに各自試験室に入室すること。
 - ・ 机の上には、受験票、筆記用具、時計 (計時機能だけのもの) 以外のものは置かないこと。
 - ・ 携帯電話は電源を切り、カバンにしまうこと。
 - ・ 試験当日は食堂の営業等を行わないので、昼食等が必要な場合は各自持参すること。
- なお、飲食場所は試験当日に指示する。
- ・ 受験生用の駐車場はないので、自動車及びバイクによる来学は出来ない。
 - ・ 受験者の同伴者が待機できる場所は設けていない。
 - ・ 電話等による可否の問い合わせには、一切応じない。

(3) 遅刻その他の取り扱い

・遅刻者の取り扱い

本人の責めに帰す遅刻者については、試験開始後 30 分までを遅刻限度時間とし、受験を認める。
なお、本人の責めに帰さない遅刻者（交通機関の遅延等）については、この限りではない。
※遅刻することが判明した場合、速やかにアドミッションオフィスに連絡すること。

・試験会場を間違えた者の取り扱い

本学が指定した試験会場以外での受験は一切認めないので、指定された試験会場に移動すること。

なお、指定された試験会場への到着が遅刻限度時間を過ぎた場合には、受験を認めない。

10. 入学手続

(1) 入学時学納金等の納入方法

合格者には、合格通知書及び「入学時学納金等の納入要領」を郵送するので、それに従い、入学手続締切日までに所定の振込用紙を用いて電信扱いで金融機関から入学時学納金等合計額を納入すること（期日厳守）。

入学手続締切日までに納入されない場合は、いかなる理由があっても入学の意思がないものとして取り扱う。

入学時学納金（2027 年度予定）

入 学 金	300,000 円
授 業 料（前 期 分）	300,000 円
施設設備資金（前期分）	50,000 円
同窓会入会金（入学時）	15,000 円
学 研 災 保 険 料	1,750 円
学 研 賠 保 険 料	680 円
入学時学納金等合計	667,430 円

※後期分授業料・施設設備資金は、前期分と同額を後期に納入すること。

※学納金等は、諸般の情勢に応じて改定することがある。

(2) 学納金等の減免について

本学院が設置する大学の卒業生は、入学金を免除とする。

本学院が設置する学校（東京家政学院大学大学院・東京家政学院大学・東京家政学院高等学校・東京家政学院中学校）に 2027 年 4 月時点で在学している学生及び生徒の姉妹兄弟が、本大学院に入学する場合には入学金の半額を減免する。また、同時に本学院の設置する学校に入学する場合にはどちらか一方の入学金の半額を減免する（ただし、授業料等を減免された私費外国人留学生は対象とならない）。

該当する者は入学金減免申請が必要となるので、アドミッションオフィスまで問い合わせること。

外国人留学生に関する入学金・授業料及び施設設備資金については、次の 1～2 に定めるところにより取り扱うものとする。

1. 4 月入学生は入学年度の 5 月末日、9 月入学生は 10 月末日までに在留資格を「留学」に変更可能な者、または「留学」の在留資格を取得する者に限っては、入学手続時の学納金（入学金・授業料・施設設備資金）が 20% 減免となる。

2. 上記期日までに「留学」の在留資格を取得出来なかった場合には、減免対象の取り消しとなる。

詳しくはアドミッションオフィスまで問い合わせること。

(3) 入学辞退について

合格者が入学手続完了後、本大学院への入学を辞退する場合は、4月入学生は2027年3月31日（水）、9月入学生は2027年9月6日（月）〔必着、書留郵便に限る。〕までにアドミッションオフィス宛に、「入学辞退届」及び「入学時学納金等返還願」を提出した者に限り、既納の学納金等から入学金を控除した金額を返還する。

指定の期日までに手続きをしない場合には、既納の学納金等は一切返還しない（合格通知書とともに送付される「入学時学納金等の納入要領」参照）。

11. 特待生制度

一般選抜試験・外国人留学生特別選抜試験における総合得点最上位者については、特待生として1年次授業料のうち半額（前期分15万円・後期分15万円）を免除する。ただし、特待生の認定基準に満たない場合は対象としない。

○認定基準

合計得点の7割以上の得点を獲得、かつ対象入試受験者のうち、総合得点において順位1位の者を認定する。

ただし、同順位の者が複数いる場合、別に定める基準で決定する。

○認定数

4月入学生Ⅰ期：1名 4月入学生Ⅱ期：1名 9月入学生：1名

12. 長期履修学生制度

本大学院は、主に社会人が長期にわたり計画的に教育課程を履修できるよう、履修期間を3年又は4年に延長できる長期履修学生制度を実施している。詳細についてはアドミッションオフィスに照会すること。

13. 在学期間短縮制度

本大学院は、所定の要件を満たした者に対して、在学期間を半年又は1年短縮できる、在学期間短縮制度を実施している。詳細については、出願受付開始日の1ヶ月前までにアドミッションオフィスに照会すること。

14. 出願書類提出先及び入学者選抜等に関する照会先

東京家政学院大学大学院 アドミッションオフィス

〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地

TEL：03-3262-2258 FAX：03-3262-2174 E-mail：nyushi@kasei-gakuin.ac.jp

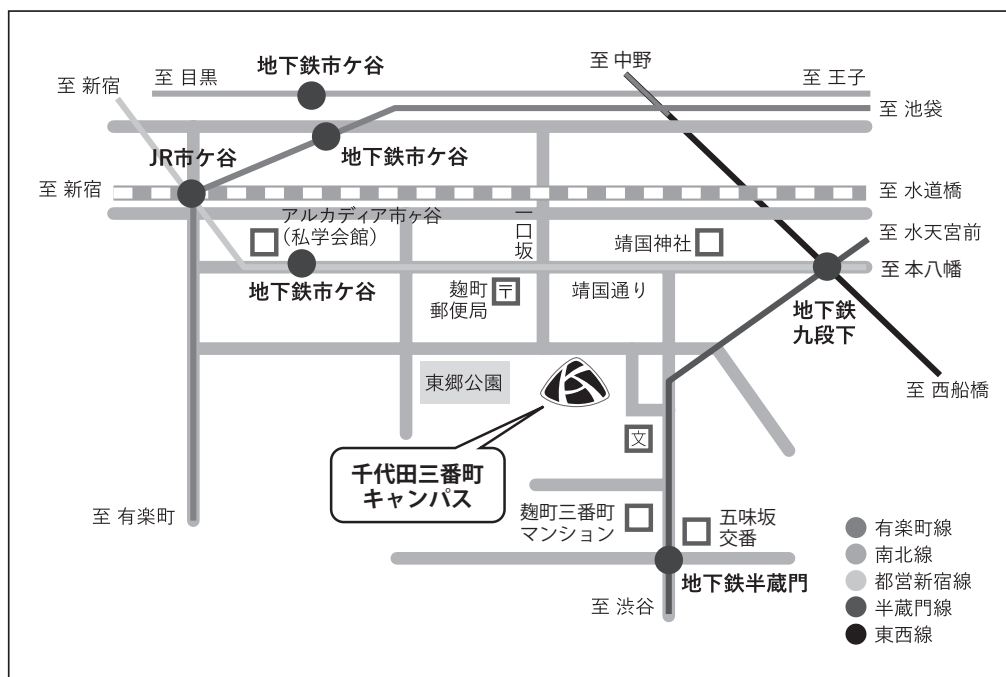
URL：https://www.kasei-gakuin.ac.jp/

【受付時間】平日／9：00～17：00 ※大学休業日を除く。

15. 試験実施キャンパス

大学院入学試験実施キャンパスは、千代田三番町キャンパスのみとなるので、注意すること。

【千代田三番町キャンパス】東京都千代田区三番町 22 番地



◆交通アクセス

■市ケ谷駅（JR 中央線・総武線、東京メトロ有楽町線、東京メトロ南北線、都営地下鉄新宿線）下車、徒歩約 8 分（地下鉄 A3 出口）

■半蔵門駅（東京メトロ半蔵門線）下車、徒歩約 8 分（5 番出口）

■九段下駅（東京メトロ東西線、都営地下鉄新宿線）下車、徒歩約 12 分（2 番出口）

※駐車場はないため、公共交通機関を利用すること。